

リスクアセスメント実施一覧表（実施記載例）

リスクアセスメント対象職場	①～③の実施担当者の実施日	④～⑥の実施担当者の実施日	⑦～⑧の実施担当者の実施日	社長(工場長)	製造部長	製造第○課長

① 作業名 (機械・設備)	② 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害※	③ 既存の災害防止対策	④ リスクの見積り			⑤ リスク低減措置案			⑥ 措置実施後のリスクの見積り			⑦ 対応措置		⑧ 備考
			重篤度	発生可能性	優先度 (リスク)	重篤度	発生可能性	優先度 (リスク)	重篤度	発生可能性	優先度 (リスク)	措置	実施日	
製品出荷作業	トラックの積み荷作業中、固縛しないで車面を移動させたので、積み荷がずれて滑り落ち、傍らの通行者が負傷する。	玉掛資格者に作業をさせる。	△	△	II	△	△	II	△	○	I			
	トラックの積み荷作業時、玉掛作業をする為にスリングを引き寄せたところ、足を滑らせて転落して負傷する。	脚立を使用して作業をする。 玉掛資格者に作業をさせる。	×	△	III	×	△	III	×	○	II			●ハッカーは、トラックに常備して使用を徹底する。 ●トラック運転者の玉掛資格の有無を確認して、資格のないものは、玉掛補助とする基準を明確にする。(基準ルールを作成)
	機械装置を停止して点検時、操作盤に「点検中」の表示をしていなかったため、ほかの作業者がスイッチを入れたので、機械に巻き込まれて手を切傷する。	点検作業をする時は、操作盤に「点検中」の表示をする。	×	△	III	×	△	III	×	△	III			機械装置のライン停止範囲を明確にして、全員に周知徹底する。
設備点検・整備作業	めっき浴槽の電気ヒーターが漏電したので修理する為、プレーカーに触ったところ、軍手が濡れていたので感電する。	電気の点検修理は、濡れた軍手や手で触らない。	×	○	II	×	○	II	×	○	II			
	グラインダー加工中、加工物を手で掴んで脱臼をした為、回転している砥石部に接触して右手指を裂傷する。	加工物は治具を使用する。	△	△	II	△	△	II	○	△	I			
	深いめっきタンク内の清掃作業で、防毒マスクを着用しないで入って作業をしていたので、酸欠で息が苦しくなり窒息する。	タンク内に入る前は、濃度測定をする。	×	○	II	×	○	II	×	○	II			
設備点検・整備作業	配管経路を点検する為、脱脂槽の下に入って調べていたところ、ビットの液溜めに右足を踏み入れ、アルカリ液で薬症する。	入社時に有害性及び処置方法を説明する。	△	×	III	△	×	III	△	△	II			●年1回、職場で使用する原材料の有害性・爆発物などの正しい取り扱い・処置方法・保管方法を全員に教育を実施する。 ●教育は全社的に水平展開する。
	工具箱の上に部品や工具を乱雑に置いていた為、肩を開けた時に落下して足に当り打撲する。	整理・整頓は、ミーティングで指導徹底する。	○	×	II	○	×	II	○	△	I			
	重たい材料を運搬する時、腰を落さないで立ち腰で持ち上げたので、キックリ腰になる。	床面には直接物を置かない。 無理な姿勢で物を持ち上げない。	△	△	II	○	△	II	○	△	I			
その他作業			△	△	II				○	△	I			

災害の重篤度 ×＝致命的・重大 △＝中程度 ○＝軽度
発生可能性 ×＝頻繁・可能性が高いか比較的高い △＝時々・可能性はある ○＝ほとんどない・可能性がほとんどない
優先度 III＝直ちに解決すべき又は重大なリスクがある。 II＝速やかにリスク低減措置を講ずる必要があるリスクがある。 I＝必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスクがある。
 ※災害に至る経緯として「～なので、～して」+「～になる」と記述